

## 県内すべての学校のブロック塀等の安全対策を 共産党県議団が申し入れ

わしの恵子、しもおく奈歩両県議は6月20日、大村知事に対して「県内すべての学校のブロック塀等の安全対策についての申し入れ」を行いました。これは、大阪北部地震でのブロック塀の倒壊による小学4年の児童の死亡事故を受けて緊急に行ったものです。

要請項目は、「①学校内において、ブロック塀やバックネットの支柱を始めとした倒壊の可能性のある危険箇所、吊り天井や照明など落下の危険性のある場所の確認などを早急に行うこと、②通学路において、倒壊の可能性のある塀や壁、電柱などの危険箇所の確認を早急に行うこと、③把握した危険箇所について公表するとともに、必要な予算をつけて早急に対策を行うこと」の3点。

対応した教育委員会は、「まずは現状をしっかりと把握していきたい」と述べましたが、調査後のことにつ

いては「検討していきたい」と述べるだけにとどまりました。わしの議員は、「予算もつけて早急な対応を」と強く要望しました。

県の教育予算は、人口当たりでみると全国44番目と極めて低い水準です(2015年度)。学校の安全確保を最優先にした県政が求められます。



県に申し入れる(左から)しもおく・わしの両県議

## 「消費税10%増税の中止を求める意見書採択を求める」請願 共産党県議団 紹介議員に



愛知県商工団体連合会(愛商連)等は6月議会に「『消費税10%増税の中止を求める意見書』採択を求める請願」を提出しました。

愛商連は2016年9月

議会以降、議会ごとにこの請願を提出しています。

当初は15年10月に予定していた10%への引き上げは、2回にわたって延期になりました。

消費税10%増税反対は多くの県民の声です。その声を受け止めて県民の願いを届けたいと、わしの・しもおく両議員は紹介議員になりました。

## 「名古屋城木造天守にエレベーター設置を」 障害者団体が県議団に申入れ



不設置方針に対する要望」を受け取りました。

障害者団体がエレベーター設置の必要性を訴えていたにも関わらず、河村市長はまったく聞く耳を持ちません。

19日、わしの、しもおく両県議は、名古屋城木造天守にエレベーター設置を実現する実行委員会より「名古屋市が現在進めている名古屋城木造天守のエレベーター

障害者団体はエレベーター設置の再考を強く求め、下記の2点を要望しています。

- ①バリアフリーを実現するエレベーターを設置してください。
- ②名古屋市が示している「12の新技术」は具体性が明確にされていません。まずは計画を止めて、私たちと協議してください。

わしの県議は「こういう問題は党派を超えて声を上げることができると思います。大村知事も『県の障害者差別解消条例に反する』と述べていたので、みんなで大きな声を上げましょう!」と、こたえました。